

施策評価シート

施策の概要(PPLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	誇れる・選ばれる・集えるまちづくり		
基本施策名	6-1 商工業	取りまとめ	地域経済課
めざす姿	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち 毛布・ニット・毛織物などの伝統産業が継承され、「繊維のまち・泉大津」としての地域ブランドが確立し、広く認知されています。また、地域密着型の商店などにより、地域住民の生活の質が向上し、活気あふれるまちとなっています。 地域のブランド力や活気が、多くの人や企業を呼び込み、新たなアイデア・産業が生み出されるまちとなっています。		
施策の展開方向	①地域産業の振興 ②地域ブランドの活用と確立 ③産業の担い手となる人材の育成と確保 ④多様な連携・協働や広域的な取組の推進 ⑤新規産業の創出と育成 ⑥商業・サービス業の振興		

施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 生活必需品を泉大津市内で買うようにしている市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	85
		実績	%	80.4	—	—	78.2	—
	② 商工業が盛んなまちだと思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	45
		実績	%	38.1	—	—	39.6	—
	③ 事業所数(商工業)	目標	事業所	—	—	—	—	3,485
		実績	事業所	3,485	3,500	—	—	—
	④ 製造品出荷額(工業)	目標	億円	—	—	—	—	1,420
		実績	億円	1,420	1,640	—	—	—
	⑤ 事業所数(繊維工業)	目標	事業所	—	—	—	—	275
		実績	事業所	273	245	—	—	—
	⑥ 製造品出荷額(繊維工業)	目標	億円	—	—	—	—	315
		実績	億円	315	334	—	—	—
	⑦ 創業者数(新設事業所数(移転含む))	目標	事業所	—	—	—	—	281
		実績	事業所	281	507	—	—	—
	⑧ 商店数(小売業事業所数)	目標	事業所	—	—	—	—	430
		実績	事業所	430	—	—	—	—

施策内事業の集計	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	総コスト計	千円	39,337	39,878	41,218		
	事業費	千円	28,616	30,079	27,474		
	人件費	千円	10,721	9,799	13,744		

施策の成果について(CHECK)

	目標達成度合(評価)	C 概ね順調	理由	目標達成度合を判断するための指標が示されていないが、現行制度のもとで事業者への支援を的確に実施していることから、左の評価とした。
成果				
課題				

◆市内中小企業事業者に対する融資の斡旋や借入を行う際の利子の一部の補給を行うとともに、販路開拓や創業促進などの取組みを商工会議所と連携して支援した。
 ◆「毛布・ニット謝恩セール」などのイベントや繊維製品に触れる内容のエッセイを広く募集することなどにより、「繊維のまち・泉大津」を広く全国にPRした。

◆市内で新規に創業しようとする事業者に対し、開業をサポートする人材の育成及び支援制度の充実に課題である。
 ◆「繊維のまち・泉大津」としての知名度・認知度は未だ低いのが現状である。

今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆創業開始時の負担軽減を図るための支援制度の充実に努めるとともに、開業をサポートする人材の確保を図る。 ◆「繊維のまち・泉大津」を広くPRするための新たな取り組みを検討する。
-----------	--

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		誇れる・選ばれる・集えるまちづくり						
基本施策名		6-1 商工業						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	地域経済課	産業振興対策事業(中小企業事業 資金融資関連事業)	2,224	1,130	1,094	A	現行どおり	
2	地域経済課	産業振興対策事業(販路開拓事 業)	5,506	4,412	1,094	A	現行どおり	
3	地域経済課	産業振興対策事業(創業支援事 業)	1,296	475	821	A	現行どおり	
4	地域経済課	産業振興対策事業(産業活性化事 業)	4,865	3,771	1,094	A	現行どおり	
5	地域経済課	地域産業振興対策事業	6,301	5,207	1,094	A	現行どおり	
6	地域経済課	地域産業振興対策事業(泉大津未 来ビジョン事業)	4,547	4,000	547	A	現行どおり	
7	地域経済課	地域産業振興対策事業(染色整理 業活性化事業)	691	144	547	A	現行どおり	
8	地域経済課	泉大津プロモーション事業	6,235	3,500	2,735	A	現行どおり	
9	地域経済課	織編エッセイ賞事業	3,704	2,063	1,641	A	現行どおり	
10	秘書広報課	マスコットキャラクター運営事業	5,849	2,772	3,077	A	現行どおり	
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			41,218	27,474	13,744			
事務事業の方向性	A 現行どおり	10 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	誇れる・選ばれる・集えるまちづくり		
基本施策名	6-2 観光	取りまとめ	地域経済課
めざす姿	地域資源を守りながら新しい風を感じさせるまち 既存の資源を活用した観光に加え、泉大津ならではの特色ある地域資源に磨きをかけ、市内には誰もが訪れてみたいと思う観光資源が充実しています。 関西国際空港に近接する立地特性を活かし、泉州地域の一翼を担いながら、国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいのあるまちとなっています。		
施策の展開方向	①泉大津フェニックスの観光資源としての活用 ②地域資源を活用した観光の推進 ③市のイメージアップ・認知度の向上の推進 ④南海本線高架下の活用 ⑤地域資源のネットワーク化による回遊性の創出		

施策の成果指標と実績(DO)									
			単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	①	市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	35
			実績	%	27.1	—	—	29.2	—
	②	池上曾根弥生学習館・織編館の利用者数	目標	人	—	—	—	—	24,000
			実績	人	21,981	29,915	30,390		
	③	各イベントの集客数(対象が市民限定のイベント除く)	目標	人	—	—	—	—	56,500
			実績	人	55,800	73,100	90,092		
	④	市内の鉄道駅における非定期利用者の1日あたり乗車人員数	目標	人	—	—	—	—	7,800
			実績	人	7,153	7,411	8,082		
	⑤		目標						
			実績						
施策内事業の集計			単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計			千円	4,593	4,594	6,782			
事業費			千円	3,499	3,500	3,500			
人件費			千円	1,094	1,094	3,282			

施策の成果について(CHECK)				
成果	目標達成度合(評価)	D 改善が必要	理由	関西国際空港利用者のインバウンドの取り込みや多くの泉大津駅利用者に対し、現状では魅力ある観光資源に乏しいことから、左の評価とした。
	◆毛布・ニット謝恩セールやナンバーワンフェスタなど産業界と一体となった取り組みにより、「繊維のまち・泉大津」をPRした。 ◆乗降客に対して市の知名度アップさせるプロモーション活動として、泉大津駅頭にプロモーションパネルを設置した。			
課題	◆沿線地域の人口が減少する中であっても増加傾向にある泉大津駅の乗降客、夏フェスのため本市に来られる多くの来場者、LCCの便数増加に伴って増え続ける関西国際空港の利用者などに、本市の魅力をどのように効果的に伝えるかが課題である。			

今後の施策の方向性(ACTION)	
今後の施策の方向性	◆本市にある歴史・文化遺産などの掘り起しや新たな観光資源の創出とともに、本市を訪れる動機付けとなるイベントの企画や効果的にプロモーション活動を展開する。

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		誇れる・選ばれる・集えるまちづくり						
基本施策名		6-2 観光						
担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果			
1	企画調整課	泉州観光プロモーション推進協議会事業	547	0	547	B 要改善		
2	地域経済課	(再掲)泉大津プロモーション事業	6,235	3,500	2,735	A 現行どおり		
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			6,782	3,500	3,282			
事務事業の方向性	A 現行どおり	1 本	B 要改善	1 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

施策評価シート

施策の概要 (PLAN)		担当部局長	都市政策部長
総合計画の政策名	誇れる・選ばれる・集えるまちづくり		
基本施策名	6-3 農業・漁業	取りまとめ	環境課
めざす姿	食を身近に感じる産業を育むまち		
	安全・安心な農水産物の生産が進められるとともに、市民の間で地元の産品への関心が高まり、地産地消の意識が広まっています。市民が農業・漁業の大切さを認識することで、次世代の担い手が育っています。		
施策の展開方向	①次世代経営者への経営環境の提供 ②地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進		

施策の成果指標と実績 (DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 地元で採れた食材を買うようにしている市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	50
		実績	%	43.0	—	—	41.1	—
	② 漁業従事者数	目標	人	—	—	—	—	23
		実績	人	23	24	24		
	③ 大阪版認定農業者数	目標	人	—	—	—	—	6
		実績	人	6	5	9		
	④ 大阪エコ農産物認定状況	目標	人	—	—	—	—	11
		実績	人	11	2	2		
	⑤ 農業従事者数	目標	人	—	—	—	—	296
		実績	人	296	261	256		

施策内事業の集計	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計	千円	13,039	23,365	37,836			
事業費	千円	8,806	18,476	32,776			
人件費	千円	4,233	4,889	5,060			

施策の成果について (CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	C 概ね順調	理由
			農業従事者の高齢化もあり、従事者数が減ってきているが、大阪版認定農業者数が増となり、生産量は横ばいの状況を維持できたことから、左の評価とした。
	◆高齢化に伴う農業従事者の減少には歯止めがかからないものの、大阪版認定農業者は増となり、生産量について現状を維持することができた。 ◆漁業について、魚種による漁獲量の変動はあるものの、全体を通じておおむね順調な漁獲量を維持する事が出来た。		
課題	◆農業従事者の減少及び高年齢化による生産量への減量が懸念される。 ◆漁業従事者の維持及び安定した収益の確保が課題となっている。		

今後の施策の方向性 (ACTION)

今後の施策の方向性	◆JA等と協力し農業従事者の経営支援を行い、安定した収入を確保する事により農業への魅力を高めていく。 ◆地域に特化した産品等の販売を促進し、地域の農業への関心を高めていく。 ◆漁協が浜の再生プランに基づいて展開する事業への支援を行い、漁業収益の増を図っていく。
-----------	--

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		誇れる・選ばれる・集えるまちづくり						
基本施策名		6-3 農業・漁業						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	環境課	経営所得安定対策等推進事業	1,309	591	718	A 現行どおり		
2	環境課	農業振興対策事業	1,538	820	718	A 現行どおり		
3	環境課	農地対策事業	34,004	31,098	2,906	A 現行どおり		
4	環境課	団体育成支援事業(環境課)	985	267	718	A 現行どおり		
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			37,836	32,776	5,060			
事務事業の方向性	A 現行どおり	4 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	誇れる・選ばれる・集えるまちづくり		
基本施策名	6-4 労働環境	取りまとめ	地域経済課
めざす姿	誰もが夢を持ち働きやすいまち		
	市内の企業では、福利厚生が向上し、安心して働ける職場環境が整備されています。また、多様な働き方への理解が進み、仕事と生活を調和させながら働ける環境が整っています。泉大津市内で働きたい人が増え、企業における雇用が促進され、世代を問わず誰もがいきいきと働けるまちとなっています。		
施策の展開方向	①安心して働ける職場環境の整備 ②福利厚生の充実に向けた支援 ③労働相談体制の充実 ④就職困難者に対する就労支援の充実 ⑤仕事と生活の調和の推進		

施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 勤めている職場の労働環境が整っていると思う市内で働いている市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	48
		実績	%	42.9	—	—	51.0	—
	② 就労相談人数	目標	人	—	—	—	—	25
		実績	人	9	5	14		
	③ 就職に繋がった人数 ／就労相談人数	目標	%	—	—	—	—	20
		実績	%	11.5	0	35.7		
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	22,179	22,159	21,279			
事業費		千円	9,529	9,509	8,629			
人件費		千円	12,650	12,650	12,650			

施策の成果について(CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	C 概ね順調	理由	勤めている職場の労働環境が整っていると思う市内で働いている市民の割合が増となっていることから、左の評価とした。
	◆大阪府などの関係機関や地域の労働組合とも適切な連携を図りながら、労働行政全般に係る情報提供や就職困難者に対する相談など地域における労働環境の改善と雇用の促進に努めた。			
課題	◆多様化・深刻化する労働問題に的確に対処できる相談員の確保が課題となる。 ◆就労相談を受けた方のその後の経緯についての把握が困難である。			

今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆誰もが安心して働くことができる職場環境の改善に向けて、様々な労働問題に対して的確に対応できる相談員を継続して確保していく。 ◆就労相談に応じた方については、関係機関と相互に連携しながらフォローアップに努めていく。
-----------	--

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		誇れる・選ばれる・集えるまちづくり						
基本施策名		6-4 労働環境						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	地域経済課	労働者対策事務事業	1,148	54	1,094	A	現行どおり	
2	地域経済課	労働相談事業	6,547	3,470	3,077	A	現行どおり	
3	地域経済課	就労支援事業	6,961	3,029	3,932	A	現行どおり	
4	地域経済課	中小企業振興事業	1,645	380	1,265	A	現行どおり	
5	地域経済課	団体等育成支援事業(労務対策事業補助金)	1,151	57	1,094	A	現行どおり	
6	地域経済課	団体等育成支援事業(外国人労働者対策事業補助金)	1,180	86	1,094	A	現行どおり	
7	地域経済課	団体等育成支援事業(労働教育等振興対策事業補助金)	2,647	1,553	1,094	A	現行どおり	
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			21,279	8,629	12,650			
事務事業の方向性	A 現行どおり	7 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本